

【様式2】令和6年度 小林市立永久津小学校 学校関係者評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって伝統と絆をつなぐ ～
--------------	---

知育	【重点目標】学力の向上を図る。	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
目標達成のための手段					
1 基礎的・基本的な学力の定着と活用力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通して、高学年の週当たり時数を27時間～28時間程度で実施することで、教職員がゆとりをもって教材研究や校務を行う時間を確保した。また、会議・研修を水曜日に固定することで、教職員が見通しをもって学級事務に取り組むことができるようとした。 ○ 1人1回の研究授業を通して「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図る授業展開の方法を模索することができた。中学校との合同研修も年2回設定することで、幅広い視点から授業について学ぶことができ、日常の授業改善に生かすことができた。 ○ ぐんぐんタイムなどの時間設定とともに、タブレットドリルを取り入れることで、児童がいつでも手軽に習熟に取り組むことができる環境づくりに努めた。 ○ 単元テスト算数、CRTの個人の伸び率が目標値に届かず、今後さらに基礎基本の徹底と個に応じた指導の充実を図っていく必要がある。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供たちはICTの活用無しでは考えられない時代となり、積極的に取り扱わせることが大切なので必要な取り組みを小中合同で取り組んでいることを評価します。将来を見据えることを意識させる取組を評価します。 ○ 教師が少ない中でそれぞれの先生方が個に応じたご指導をいただいていると思います。
2 個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業における形成的評価、テストにおける診断的評価をもとに、個別指導を実施した。学級担任だけでなく、管理職も協力したり、児童が自分で学習を進めるができるように「スマイルドリル」等も準備したりすることで、個に応じた指導の充実を図った。しかし、教職員や保護者のアンケート結果を見ると取組が十分ではなかったと感じる。組織的・計画的に取り組むができるように、次年度の取組を考えておく必要がある。 		2.3	3.0	
3 主体的・協働的に学ぶ児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題研究を中心に「主体的・協働的な学習」について「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点を通して研究を深めた。しかし、理論的な部分を深めることができず、継続した取組が必要である。 				
4 ICT機器の効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的にICT研修会を実施することで、ICT機器活用の知見を深めた。また、合同授業など、一緒に授業をする機会を通して、互いのICT機器活用の方法について、情報交換を行うことができた。 				
5 将来を見据え、学ぶ目的を意識させた学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長の設定した重点目標について、集会などで職員が話す場を設けたり、外部講師の方を招いての授業を定期的に実施したりするなど、将来について考える機会を設けたが、児童の中には、将来の夢をもつことができない児童もいた。今後も取組を継続することで、児童が将来のことに対する希望をもてるようになっていきたい。 ○ 年度当初に、各学年の体験学習や地域の人材を活用した学習を行事予定表に組み込んでおくことで、計画的に学習を進めることができるようになった。 ○ 今後も新聞を活用した地域や社会で起こっている問題や出来事に关心を持たせるための取組をさらに充実させていきたい。 				
6 基本的学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な指導と学級活動の時間を中心に、よりよい学習習慣の確立を図った。しかし、忘れ物をする児童が固定化されたり、宿題の取組が十分ではない児童が固定化されたりするなど、個に応じた指導が十分ではなかった。今後は学級担任を中心としながらも、立腰や鉛筆の持ち方と合わせて組織的に対応できるように協議する場を設定していきたい。 				

德育	【重点目標】豊かな心の教育を推進する。	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
目標達成のための手段					
1 基本的な生活習慣の定着(あいさつ、廊下歩行)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の中など決まった相手に対しては挨拶できるが、地域の方に対して進んで挨拶ができない。そのため、学期に1回は教職員と保護者が一緒に挨拶運動に取り組むと挨拶がさらに良くなっていくと思われる。 ○ 今後も明日の準備や整理整頓、携帯電話の使い方等、家庭での基本的な生活習慣の確立に向けて保護者と連携して取り組む必要がある。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校の改善は必要である。 ○ 原因の突き止めなければ不登校は増えると思う。親との連携が必要。 ○ あいさつなどは部活動での取組によりOK ○ あいさつは継続的に指導をお願いしたい。また、学校生活が楽しいと思う生徒が多いということに安心しました。
2 いじめ・不登校根の根絶	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月のアンケートの他にも児童の日常の態度や日記などから早期発見を目指す。また日常的に友だちを思いやる気持ちを育てる指導も必要である。 				
3 道徳科教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校生活が楽しい」と思う児童が多い。児童の交友関係について、担任が配慮し、懸念される場合も保護者と連携しながら対応することができた。 ○ 一人二鉢については、お世話がよくできているが、夏場の学級園に関しては、草取りなどができないところがあったので、朝の学級の時間などを利用し、お世話をすると良い。 				
4 読書と新聞活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書支援員との連携により教職員及び児童が利用しやすい環境づくりに取り組むことができた。また委員会でも年3回のイベントを計画することで図書室利用を呼び掛けることができた。しかし、図書室利用者や貸出冊数は年々減っているので、さらに取組を工夫する必要がある。 				
5 体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月行事計画案に掲載することで、漏れなく計画通りに実施できた。また、市バスの空き状況も確認することで、年度初めに計画していない内容も実施することできた。 				
6 安全安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月1回の安全点検で危険箇所を察知し、安全な学校生活を送ることができた。 				

2.7 3.0

体育	【重点目標】基礎体力の向上とがんばりぬく力を育成する。			
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 体力向上プランを意識した基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち込みのある種目長座体前屈・50m走について改善プログラムを実施し、2月に2回目の測定を実施する。 ○ 測定の方法について共通理解を図る。 	2.5	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 父母の就業時間などを考えると歯科医院への通院は厳しいと思われます。フッ化物洗口や自宅でのみがきを心がけるよう推奨ください。 ○ 外遊びが体力向上の基礎となると思うので、積極的に指導をお願いします。
2 外遊びの奨励	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外遊びをしている児童 90%で達成できている。 ○ 自力登校90%で、おおむね達成できている。 			
3 むし歯治療の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ むし歯治療率1月上旬現在 35%。引き続き根気強く受診について対象家庭に呼びかけていく。 ○ フッ化物洗口は、予定通り実施できている。 			
4 欠席0の日の実現(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月6日現在で56日。全職員で連携して支援指導にあたっている。 			

食育	【重点目標】食に関する感謝と望ましい習慣を育む。			
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食に関する児童の自己評価88%と、好き嫌いせずに給食を食べることができている。 ○ 食事のマナーに対する保護者の自己評価 74%で改善の余地があるので、学校保健委員会、給食だより、ほけんだより、ホームページ等を活用して更なる家庭との連携を図りたい。 ○ 教育課程に沿って各食育に関する行事を計画的に実践できている。 ○ 弁当の日を計画的に実施できた。 	3.5	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食育は、近年大切な教育となっており、家庭はもちろん学校での取り組みを期待しています。また、食材の大切さとありがたさ、作る側の苦労を指導してほしいです。「もったいない。」という言葉の意味も指導してほしいです。
2 食物アレルギー対応の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギーに関する職員の自己評価100%で達成できた。 ○ 年度始めに学校薬剤師を講師に招き食物アレルギー研修を実施できた。 			

その他	【重点目標】地域・保護者・永久津中学校との連携の推進を図る。			
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 小中合同による研修や行事の実施	○ 内容を精選し、必要な研修、会議は実施することができ、小中連携して行事等を進めることができた。			○ 今後とも、地域活動への積極的な参加を期待します。 ○ 先生方の協力もあり、地域との連携も図られ素晴らしいと感謝しております。150周年記念事業も大成功でした。重ねて御礼申し上げます。
2 地域行事への協力	○ 学校行事に多くの地域の方々に協力いただいた。 ○ 永久津どんど祭りや健幸こばやし大運動会など、地域が主導する行事にも多くの児童や生徒が参加できた。	4	4	
3 学校の情報発信(学校だより・ホームページ)	○ 学校だよりやホームページをとおして、学校行事や各学年の取組等を積極的に発信することができた。			